

新現役チャレンジ支援事業で

賃有信金が初の交流会

8月 都内4信金に拡大

企業OBが課題解決

亀有信用金庫（矢澤孝太郎理事長）は、取引先中小企業への提案として「新現役チャレンジ支援事業」を活用する。「同事業の活用は都内金融機関で初めて」（東京商工会議所）

（矢澤理事長）は、取引先中小企業への提案として「新現役チャレンジ支援事業」を活用する。「同事業の活用は都内金融機関で初めて」（東京商工会議所）

（矢澤理事長）は、取引先中小企業への提案として「新現役チャレンジ支援事業」を活用する。「同事業の活用は都内金融機関で初めて」（東京商工会議所）

（矢澤理事長）は、取引先中小企業への提案として「新現役チャレンジ支援事業」を活用する。「同事業の活用は都内金融機関で初めて」（東京商工会議所）

（矢澤理事長）は、取引先中小企業への提案として「新現役チャレンジ支援事業」を活用する。「同事業の活用は都内金融機関で初めて」（東京商工会議所）

（矢澤理事長）は、取引先中小企業への提案として「新現役チャレンジ支援事業」を活用する。「同事業の活用は都内金融機関で初めて」（東京商工会議所）

（矢澤理事長）は、取引先中小企業への提案として「新現役チャレンジ支援事業」を活用する。「同事業の活用は都内金融機関で初めて」（東京商工会議所）

（矢澤理事長）は、取引先中小企業への提案として「新現役チャレンジ支援事業」を活用する。「同事業の活用は都内金融機関で初めて」（東京商工会議所）

（矢澤理事長）と判断。第一弾として6月12日、同信金本部で都内10力店の主要取引先（21社）と「新現役」の専門家との交流会（個別面談会）を開催する。同支援事業の東京事務局である東京商工会議所と初の連携による交流会で、経営企

業者は増えている。こうちたなか、同信金は専門的かつ高度な相談に金庫として的確に対応することが地域の発展に不可欠」（矢澤理事長）と判断。

8月には、業務提携による「新現役」の活用を広げる。90社が参加の予定。

マーケティングなどの課題を専門家に相談する。今後、全店に拡大していき方針。

8月4日開く4信金（同信金と東栄、小松川、足立成和）のシグマ（Σ）で参加企業と専門家の相談会を行う計画だ。